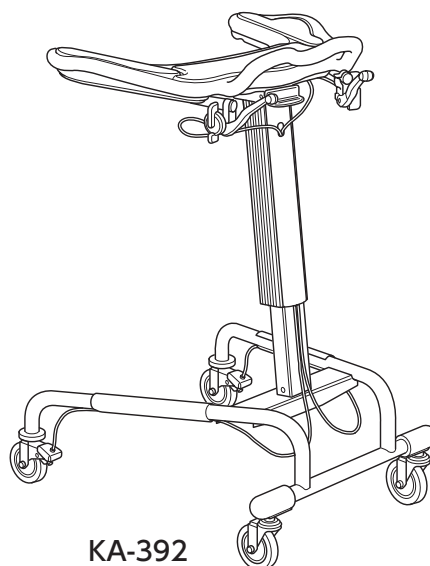
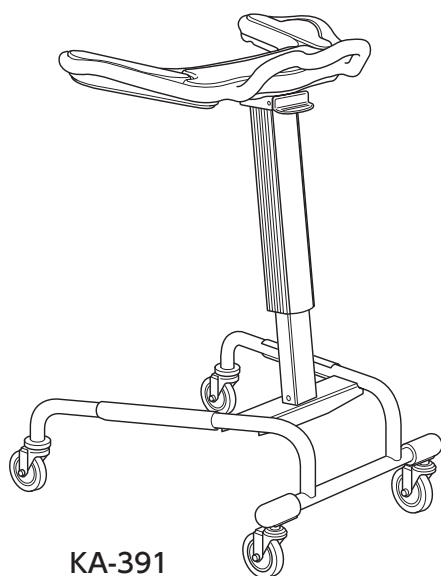


取扱説明書

KA-391・392 歩行補助器

保証書付

7F05842800A3

**まえがき**

このたびは、歩行補助器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、歩行補助器を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

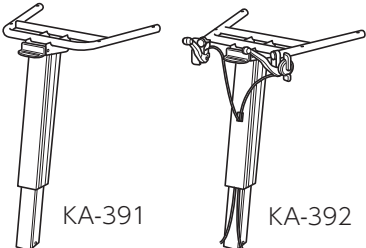
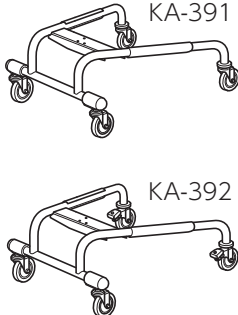
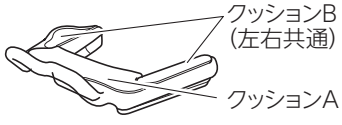
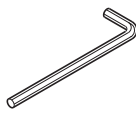

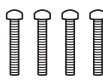
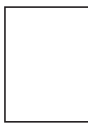
- 歩行補助器をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- 歩行補助器を使用する方ばかりでなく、付き添いの方や介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

使用目的

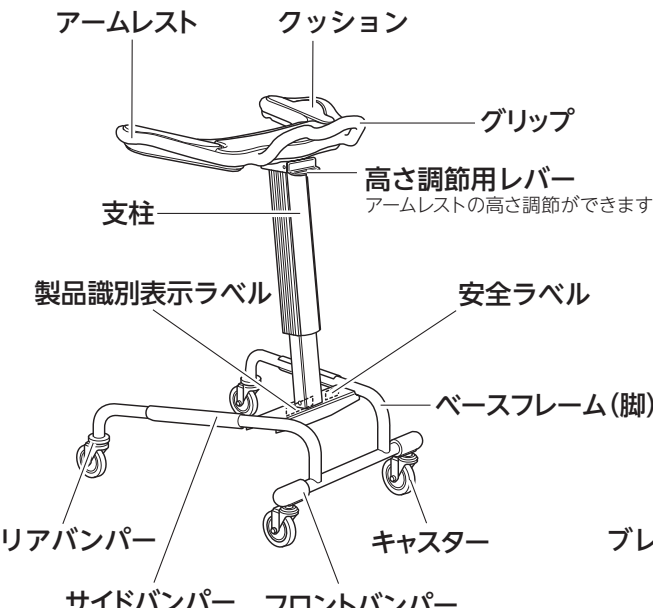
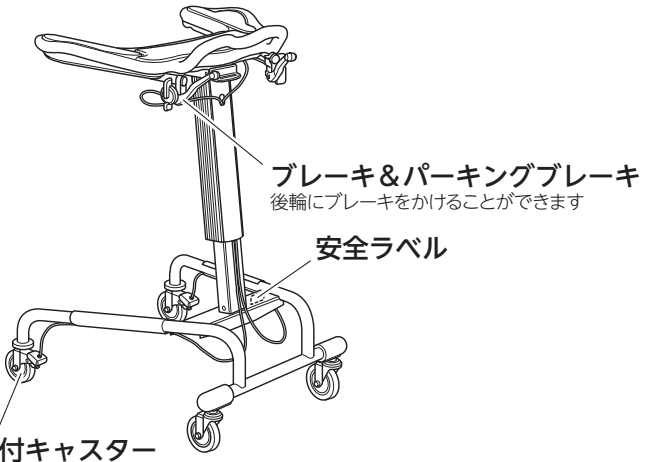
■この歩行補助器は、自力歩行が困難な方の歩行を補助することを目的に作られています。
(屋内専用です)

開梱と部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

支柱×1	ベースフレーム(脚)×1	アームレスト×1	六角レンチ×1
 <p>KA-391 KA-392</p> <p>(ブレーキワイヤーでベースフレームと接続されています。)</p>	 <p>KA-391 KA-392</p> <p>(ブレーキワイヤーで支柱と接続されています。)</p>	 <p>クッションB (左右共通) クッションA</p>	
		ボルト大×3	ボルト小×4
			
			取扱説明書×1
			

各部の名称

KA-391	KA-392 (ブレーキ付)
 <p>アームレスト クッション</p> <p>グリップ</p> <p>高さ調節用レバー アームレストの高さ調節ができます</p> <p>支柱</p> <p>製品識別表示ラベル 安全ラベル</p> <p>ベースフレーム(脚)</p> <p>リアバンパー キャスター</p> <p>サイドバンパー フロントバンパー</p>	 <p>ブレーキ&パーキングブレーキ 後輪にブレーキをかけることができます</p> <p>安全ラベル</p> <p>ブレーキ付キャスター</p>

警告

- 歩行中はアームレストの高さ調整を行わないでください。
- 斜面の移動や段差を乗り越える際は、操作に注意してください。
- ベースフレーム(脚)をベッドの下に入れないでください。

この製品は屋内専用です
最大使用者体重：100kg
高さ調整範囲：966~1218mm

 **PARAMOUNT BED**
3F08420001

安全ラベルについて

- 注意事項の中で、歩行補助器をお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてベースフレームに貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
- 安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しいラベルを取り寄せ、貼り直してください。

安全に使用するための注意事項



けい
警
こく
告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺^{まひ}など）を負う可能性が想定される内容を示しています。

■組立の際は、ボルトをしっかりと固定してください

- この製品は組立式です。組立てる際は、ボルトにゆるみがないようしっかりと固定してください。ゆるんだまま使用しますと、思わぬけがをすることがあります。

■組立の際は、新しいボルトを使用してください

- 一度組立に使用したボルトは、ゆるみ止め効果が弱まるため、再使用するとゆるむおそれがあります。ゆるんだまま使用しますと、思わぬけがをすることがあります。

■屋外では使用しないでください

- この製品は屋内専用です。屋外で使用すると、凹凸のある場所などで転倒して、けがをすることがあります。

■高さ調節用レバーは歩行時には操作しないでください

- アームレストの高さを調節する場合は歩行を止め、安全を確認してから行ってください。歩行時に操作を行うとバランスを崩し、転倒して、けがをすることがあります。

■片マヒの方の使用や片側のみに重心をかけて使用しないでください

- バランスを崩し、転倒して、けがをすることがあります。

■腕やひじをクッション以外の部分に乗せないでください

- バランスを崩し、転倒して、けがをすることがあります。

■12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）に使用させないでください

- 誤操作により転倒するなど、思わぬけがをすることがあります。

■次のような場所では使用しないでください

- 転落・転倒してけがをすることがあります。
 - 滑りやすい路面や凹凸のある場所
 - 急な坂道
 - エスカレーター
 - 階段

■歩行補助器に乗らないでください

- ベースフレーム（脚）やアームレストなどの上に乗ると、転落・転倒して、けがをすることがあります。

■アームレストとグリップの間に腕を入れしないでください

- 腕が抜けなくなったり、転倒して、けがをすることがあります。

■段差や溝の乗り越え、斜面での使用は十分に注意して行ってください

- 転倒して、けがをすることがあります。

■体重100kgを超える方は使用しないでください

- この製品の最大使用者体重は100kgです。この体重を超える方が使用すると、破損・変形して、けがをすることがあります。

■ベッドの下にベースフレーム（脚）を入れた状態で、ベッドの高さ調節をしないでください

- ベースフレーム（脚）をベッドの下に入れると、ベッドの高さ調節の際にはさまれて、転倒してけがをしたり、歩行補助器が破損するおそれがあります。

■ブレーキをかけながら長い距離を走行したり、引きずったりしないでください（KA-392のみ）

- 転倒してけがをしたり、キャスターが摩耗して、故障の原因となります。

安全に使用するための注意事項



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■走行するときは、足元に注意してください

- キャスターや支柱に足がぶつかったり、キャスターに足がはさまれ、けがをするおそれがあります。

■アームレストやベースフレーム（脚）に荷物を載せて使用しないでください

- この歩行補助器は歩行用です。アームレストやベースフレーム（脚）に荷物を載せて使用すると、落下して、けがをするおそれがあります。

■お客様による修理・改造はしないでください

- 思わぬけがや故障の原因となります。

■火気に近づけないでください

- 歩行補助器をストーブなどの熱器具へ近づけないでください。変質・変形・発火などの原因となります。

■スプレータイプの殺虫剤を直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって破損・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがありますので十分ご注意ください。

■被災した歩行補助器は点検・修理を依頼してください

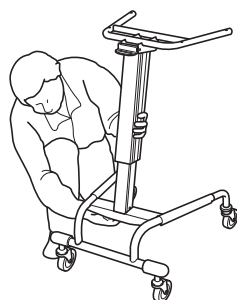
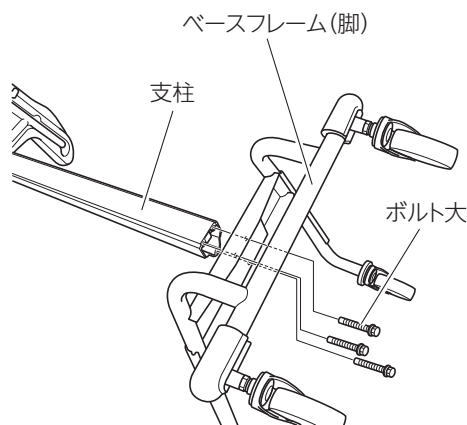
- 地震・火災・水害などで被災した歩行補助器は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（裏表紙参照）に点検修理をご依頼ください。変形による動作の異常によってけがをするおそれがあります。

■故障、破損したら使わないでください

- 万一故障・破損した場合は、すぐに使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、思わぬけがをするおそれがあります。

取付方法

1. 支柱の取付け



※組立時には、対辺 13mm のラチェットレンチまたはスパナをご用意ください。

- ①支柱をベースフレーム（脚）に立て、ボルト大を手で均等に仮止めしてください。（3ヶ所）



- 均等に仮止めしないと途中でボルトが入らなくなり、ねじ山が変形する可能性があります。

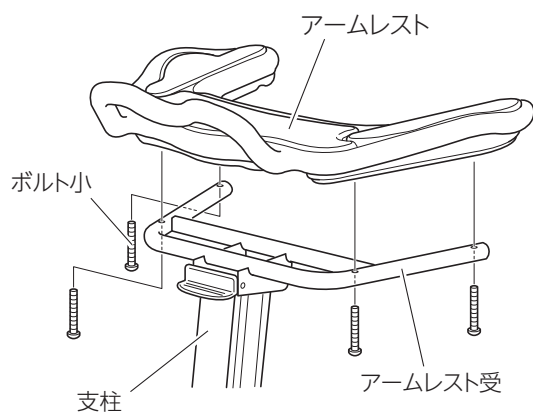
- ②最後に工具（ラチェットレンチまたはスパナ）を使い、しっかりと締付けてください。（3ヶ所）



- 電動工具を使用する場合、組立時の推奨締付トルクは 15 ～ 30N・m（150 ～ 300 kgf・cm）です。

取付方法

2. アームレストの取付け



※組立時には、付属の六角レンチをご使用ください。

①アームレストを支柱のアームレスト受に載せ、ボルト小を手で均等に仮止めしてください。(4ヶ所)

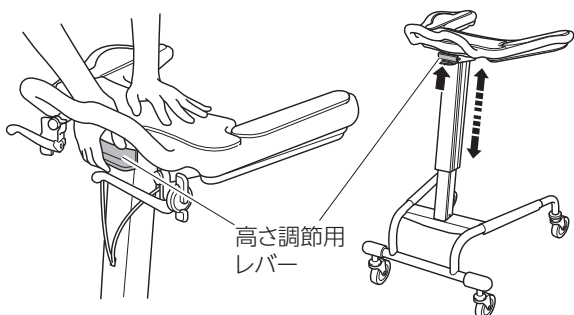


●均等に仮止めしないと途中でボルトが入らなくなり、ねじ山が変形する可能性があります。

②最後に工具(付属の六角レンチ)を使い、しっかりと締付けてください。(4ヶ所)

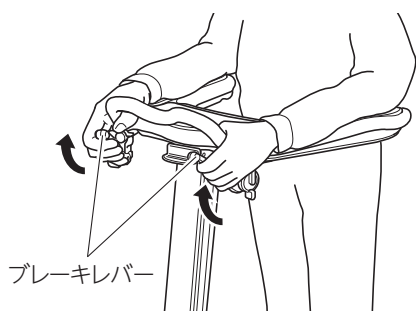
使用方法

1. アームレストの高さ調節



●高さ調節用レバーをカチッと音がするまで引きあげてください。ロックが解除され、高さ調節が可能になります。ご使用になる方の身長にあわせて高さ調節をしてください。レバーを離すとその位置で固定されます。

2. ブレーキ&パーキングブレーキの操作 (KA-392のみ)

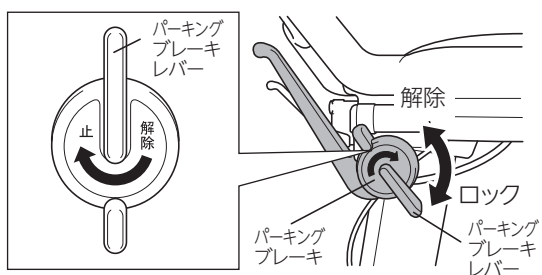


【ブレーキ操作】

●ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかり、離すと解除されます。



●ご使用になる前に必ずブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪い場合は、調整してください。(5ページ参照)



【パーキングブレーキの操作】

●パーキングブレーキレバーを「止」の方向に回すと、パーキングブレーキがかかり、「解除」方向に回すと解除されます。



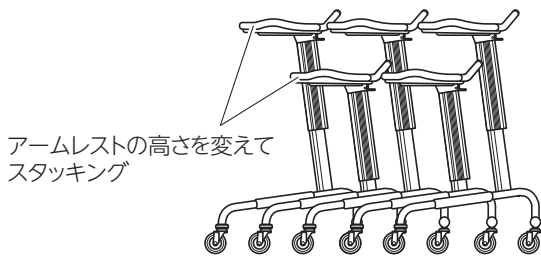
●パーキングブレーキ使用中にブレーキレバーを操作すると、ロックが解除される場合がありますのでご注意ください。



- ブレーキは両側同時に操作してください。片側だけで操作しますと、バランスを崩し、転倒して、けがをするおそれがあります。
- パーキングブレーキは左右両輪にかけてください。片側だけをかけた場合、不意に動き、思わぬけがをするおそれがあります。

使用方法

3. 収納 (スタッキング)

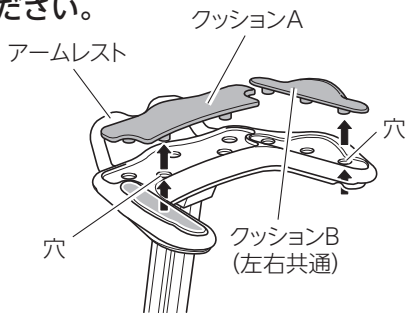


- この歩行補助器は収納時にスタッキングができます。(約2台分のスペースに約5台収納できます。)
- ※KA-392(ブレーキ付)も同じスペースに収納できます。

日常のお手入れ

1. クッションのお手入れ

- クッションが汚れたら、取外して清掃してください。(6ページ 3.お手入れ参照)
- クッションは、長く使っていると摩耗したり劣化しますので、交換してください。



【クッションの取外しかた】

- クッションを取外すときは、アームレスト裏側の穴に指を入れ、押しあげてから外してください。



- クッションを無理に取外さないでください。無理に取外すと、クッションが破損・変形するおそれがあります。お手入れ後は、クッションを取付けてください。

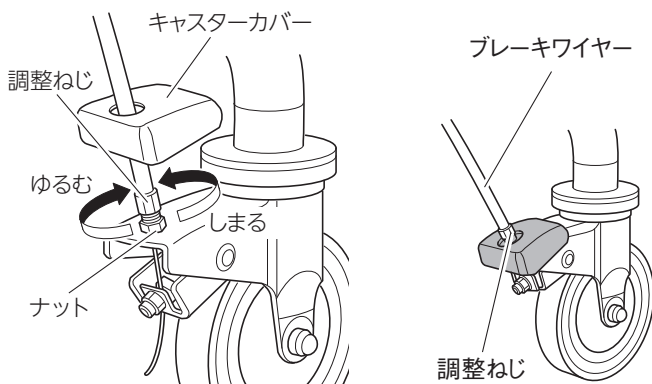
- クッションを取付けるときは、アームレストの穴に突起部をしっかりと押し入れてください。



- 突起部がしっかりとハマっていないとクッションが外れやすくなりますのでご注意ください。

2. ブレーキワイヤーの調整

- ブレーキの効きが悪い場合は、下記を参照してブレーキワイヤーの調整を行ってください。



- ①キャストカバーを上にはずしてください。
- ②ナットをゆるめてください。
- ③調整ねじを回し、ブレーキレバーを握りながらブレーキの調整をしてください。
※調整ねじを時計回りに回すとブレーキがゆるくなり、反時計回りに回すときつくなります。
- ④ナットを締めてください。
- ⑤はずしたキャストカバーを元に戻してください。



- 調整を行う際は、ワイヤーに触れないでください。ブレーキの効き具合に影響を与え、操作時に思わぬけがをするおそれがあります。

日常のお手入れ

3. お手入れ

■汚れを落とす場合


下記①～③の手順で行ってください。

- ①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
- ②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■消毒する場合


必ず下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

- | | |
|--------------|------------------------|
| 76.9 ～ 81.4% | 消毒用エタノール |
| 0.05 ～ 0.2% | 塩化ベンザルコニウム (オスバンなど) |
| 0.05 ～ 0.2% | 塩化ベンゼトニウム (ハイアミンなど) |
| 0.05% | グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテンなど) |
| 0.02 ～ 0.05% | 次亜塩素酸ナトリウム (ミルトンなど) |



ちゅうい
注 意

- 歩行補助器の清拭をする際は、フレームの角や縁およびねじ部などに注意してください。手などにけがをするおそれがあります。
- 揮発性のもの(シンナー、ベンジン、ガソリンなど)やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質するおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。





●オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

仕様

品名		歩行補助器	歩行補助器 (ブレーキ付)
品番		KA-391	KA-392
寸法 (cm)		幅約66×長さ約73.2×高さ約96.6～約121.8	幅約66×長さ約75.2×高さ約96.6～約121.8
製品質量 (kg)		約 12.5	約 13.5
本体色		シルバー	
材質	支柱	アルミニウム製/アルマイト処理	
	ベースフレーム	スチール製/メラミン焼付塗装仕上げ	
	アームレスト	PP (ポリプロピレン)	
	クッション	EVA 樹脂	
	フロントバンパー	PP (ポリプロピレン)	
	サイドバンパー	PP (ポリプロピレン)	
	リアバンパー	エラストマー	
キャスター径		φ 100mm (静音キャスター)	
最大使用者体重		100kg	

アフターサービスについて

<メンテナンスについて>

■高さ調節がしづらい場合・異音がする場合

歩行補助器の高さ調節がしづらくなったり異音が発生する場合は、パラテクノコールセンター（下記参照）までお問い合わせください。



●お客様の使用頻度にもよりますが、高さ調節機構は、約3年ごとに注油が必要です。

※製品内部部品への複雑な注油のため、注油方法やご使用になる油につきましては、パラテクノコールセンター（下記参照）までお問い合わせください。

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼される時

修理のご依頼は、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ベースフレームに貼付：1ページ「各部の名称」参照）
- お買い上げ日 ●破損または異常の内容（できるだけ詳しく） ●施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- キャスターは消耗部品です。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639 受付時間:9:00～17:20（夏季休業・年末年始休業を除く）

【パラテクノ株式会社について】 弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

保証書

品名 / 品番	歩行補助器 / KA-391、392	保証期間	*お買い上げ日			年	月	日より1年間
お客様	お名前	*販売店 (店名・住所)						
	〒 ()							
	ご住所							

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。
この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

【保証規定】

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
 - 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
 - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
● This warranty is valid only in Japan.

<パラマウントベッド株式会社>

本社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 東京営業部 ☎(03)3648-1171(代)
札幌支店 〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11 ☎(011)271-1181(代)
仙台支店 〒980-0013 仙台市青葉区花京院2丁目1番65号 花京院プラザ4階 ☎(022)217-7311(代)
さいたま支店 〒338-0001 さいたま市中央区上落合9丁目4番7号 ☎(048)852-0707(代)
横浜支店 〒194-0004 東京都町田市鶴間1715番地1 ☎(042)795-8800(代)

名古屋支店 〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目20番17号 ☎(052)963-0600(代)
大阪支店 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2丁目3番33号 ☎(06)6443-8791(代)
広島支店 〒733-0011 広島市西区横川町3丁目8番5号 ☎(082)293-1311(代)
福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号 ☎(092)461-1131(代)